



発行 明治大学マスコミクラブ
 〒101-8301
 東京都千代田区神田駿河台1-1
 明治大学広報課内 MMC事務局
 電話 03-3296-4082
 FAX 03-3296-4087
 e-mail : mmc@meiji-mmc.sakura.ne.jp
 発行人 本村 隆
 編集 馬淵 豊・梶野 雅秀

百三十年と言う歴史を考
 え、その重みに感慨も二人であ
 る。そこで、興し方を振り返
 ってみるのも、恥ずかしな
 がら私の学生生活を思い起こ
 してみる。

昭和26年に入学を許され
 和泉校舎に通う様になる。未
 だ敗戦の名残が残る中
 での学生生活は、貧しいもの
 だったがそれなりに希望に満
 ち溢れたものだった。食糧事情
 から弁当持参が当たり前。校門
 前を流れる玉川上水土手で
 ランチタイムは級友達との嬉しい



堀威夫 M.M.C.顧問
 昭和30年商学部卒

このたびの東日本大震災により被災されました皆さまに、
 心よりお見舞い申し上げます。

二十五歳のとき、芸能プロダクションを設立し、二代で上場企業に育て
 上げた現ホリプロ取締役ファウンダー最高顧問堀威夫さん(78)。森昌彦、
 山口百恵、桜田淳子、和田アキ子などを育てあげたことはあまりにも有
 名、母校を愛し、明治大学マスコミクラブの発祥の会合に出席していたた
 く堀さんに敬意を表します。このたび大学創立130周年にあたり原稿
 依頼に快く快談「原文のまま掲載します。(M.M.C.広報 馬淵豊)

百三十年をよめる心
 赤回苦く照れ臭い思い出
 堀威夫

の一時だった。学食完備の現在、
 想像すら出来ないだろう。
 果して懺悔の値打ち「有り
 や無しや」、定かではないが、更
 に級友達の熱い友情が思い出
 される。入学の年の暮れ、ワグ
 ン・マスターズにスカウトされ
 プロユーザーへの道を歩む
 事になる。所謂、一足の草鞋と
 言うやつだ。当然、学業との両
 立が難しい局面も出てくる。
 後にレコードヒットと共に、地
 方公演の増加で欠席がちにな
 る。今とは違って新幹線など無
 い時代。度、地方に出ると三、
 四十日くらい帰れない。辛い旅
 河台に通う時期と重なったた
 め、いくらか出欠が緩やかに
 なったとはいえ、中々困難を
 伴った。他のバンドメンバーは全
 員卒業を諦めた。そんな中、一
 時中退も止むなしいと思いつ
 たが、生来のこだわり癖で何
 とか卒業に漕ぎ着ける事が出
 来た。それもこれも、級友達の

代返に助けられての事に間違
 いない。自己犠牲も厭わない
 彼等の友情は忘れぬ事が出来
 ない。学校当局には誠に申し
 訳ない事だが、年月を経た今
 日、時効と言う事でお許し願
 いたい。何つ胸を張れる事の無
 い明大生。チヨリほろ苦く、
 照れ臭い、気持で懐かしく思い
 出されて此の頃だ。

さて、近頃の明治大学はリバ
 ティーターを始め、その素晴
 らしい校舎と設備には、目を
 見張るものがある。そのお蔭
 かどうか、入学志望者が
 No.1との事、喜ばしい限
 りだし、私達年代として
 は、一寸淋しい事も有る。余
 りに近代化された学舎は、明
 大の校風である質実剛健が失
 われるのでは？ 偶に母校へ
 行く機会に、擦れ違う学生諸
 君のタイプと言うか、テイスト
 が随分と変わって来ている気が
 するが、私だけだろうか？

もし「慶応、立教です」と言わ
 れれば、そうかな、とも思える
 学生達に沢山会うのだ。概に
 悪いと言っているわけではない
 のだが、なにしろ圧倒的に
 分母が大きくなっているのだか
 ら、仕方ないか。年寄りの練り
 言との批判を承知の上で言わ
 してもらおう。かねてから私は、
 「二十世紀の日本のキーワード
 は、「らしさ」；「ならでは」の
 追求では、と思つてはいる。明大
 らしさ、「明大ならでは」と
 は？是非永遠のテーマとして
 追い掛けてもらいたいものだ。



1月25日、リバティタワー23
 階で2011年MMC総会が
 開催されました。今年の総会
 は常任理事の改選期にあたり、
 新会長に本村隆氏、新副
 会長に和田哲郎氏と、いずれ
 も1977年卒の両名が選出
 され、新体制のスタートをき
 りました。

当日は、大学から長堀理事
 長をはじめ日高常勤理事、向
 殿校友会会長、永代就職キャ
 リア支援部長、中山生田就
 職支援事務局長、高村校友課
 長の出席を得、また親交が深
 い他団体からは、全国黎明キ
 ラブの上西会長、建設・不動
 産協会会の太田会長及び各会
 の副会長が出席され、マスコミ
 内定の学生を含め総勢75名の
 出席を頂きました。

懇親会では、MMC会員が
 主にボランティアで制作したと
 いう大学創立130周年に
 向けてのDVDが会場内で披
 露され、11月のイベントに向か
 つて大いに盛り上がりました。
 また、恒例の内定者紹介も
 あり、就職セミナー、マスコミ
 講座の成果も披露されまし
 た。最後には恒例の校歌斉唱
 エールで新たな今年への決意
 を示し、MMCの歴史や奥深
 さと一体感を改めて感じた新
 年総会となりました。



2011年MMC総会開催

昨年より会員相互の交流の
 場として、新年会・ピアバ
 ティーウォークに続き、ゆづ
 たりと会員の皆様に時間を過
 こし、交流を図つていただくべ
 くスタートしたこの会も、今
 回で4回目となりました。

毎回3時間以上の会場押さ
 えをし、皆様が好きな時間
 に、許される時間を使って交
 流を図つていただくことで、
 学生・新入社会人から、ベテ
 ランの皆様まで、あらゆる年
 代の方々が集うことができる
 会として定着してきたと思っ
 ております。

そして、今回は前3回とは
 違い、思い切ってお茶の水の地
 んの厚意により、渋谷の
 「HORIPRO SQUARE」の



「MMC」サロンの渋谷で開催！
 参加者、過去最高の43名

開催となりました。やはり、
 お茶の水での開催が、渋谷
 は若者向けじゃない、等、い
 ろいろと事前にご意見をいた
 だき、これは参加も少ないか
 なあ、と思つていましたら、
 なんと過去最高の参加人数
 43名を記録しました。

スタートの午後6時半から、
 すでに10名以上の方に参加
 いただき、その後も参加者は
 増え続け、最終的に43名の参
 加を頂きました。いつも通り
 特別な企画はなく、自由な流
 れで進行はしていきますが、
 会場内では、父子ほどの差の
 グループでの名刺交換会や、
 同年代での簡易コンパ、そして
 明日の仕事に繋がる情報交換
 会等、会の利用方法も皆さん
 は慣れてきたようです。

さらに今回の会場には、目



四月三日開花の気配なし
 昨年は三月二十六日に実施し
 たが開花なし。今年は一週間ほ
 ど遅れたが相模カツリ
 は冬景色のそれでも晴天温暖
 な絶好のゴルフ日和だった。
 三組十一人と少々ざびった参
 加人数であった。四月一日は新



武内裕杯観桜コンパ報告

その腕の上達に利用していた
 ようです。
 お帰りの際には、皆さん次
 回は？と尋ねられてお帰りに
 なられたのもうれしい限りで
 す。

今回は8月の後半を予定し
 ておりますので、まだご参加
 されない皆さまは、ぜひ次
 回ご参加ください。お待ちし
 ています！
 堀口博史(81年・文)

秋大会に続き楯氏二連勝
 幹事だからと言って事前に
 隠しホールドを知っているわけ
 はありません。たまたまです。
 ともあれ、武内裕杯の優勝カッ
 プが春の桜柄、秋のもみじ柄
 と対でゲットできたのはうれし
 い限りです。

また準優勝は実力者佐々木
 共成氏で、大血をゲット(市価三
 万円以上とは制作者の言)し
 ました。

齋藤柳光氏涙の復帰
 長らく足の故障で不参加
 だった齋藤柳光氏が久々の参
 加、故障前よりいいスコアで？
 プレー出来うれいそうだった
 のが印象的でした。

順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優勝	楯 郁太郎	44	48	92	22.4	69.6
2位	佐々木 共成	45	40	85	14.0	71.0
3位	堀 威夫	50	50	100	28.4	71.6
4位	大西 敏勝	45	48	93	21.2	71.8
5位	木村 武	54	53	107	34.4	72.6
6位	木元 尚男	49	51	100	26.0	74.0
7位	久保田 耕平	48	54	102	27.2	74.8
8位	齋藤 柳光	48	54	102	26.0	76.0
9位	山田 祐司	54	57	111	34.4	76.6
BB	大林 龍彦	57	62	119	40.0	79.0
BM	千田 正穂	55	66	121	35.6	85.4

※ハンデは新レリア方式
 ※2011年4月1日
 相模カツリ倶楽部
 紅葉コンパ参加者大募集
 次回は秋の紅葉コンパ、詳細は追っ
 てご連絡します。
 ゴルフ界も今やヤングパワー、若手
 会員の参加を是非お待ちします。
 幹事・楯郁太郎(64年・商)
 (申込連絡先 090-2247-1121)



◆未曾有の東日本大震災、同
 地域に暮らす同窓諸兄、日も
 早く立ち直つて！◆福島原発
 事故、放射能拡散は地球を覆
 う。子供の将来を憂う。情報は
 後手に回る。◆マスコミはいま
 層目を見開く時、偽政者と業
 界の癒着を断て！(M記)

編集後記
 ◆未曾有の東日本大震災、同
 地域に暮らす同窓諸兄、日も
 早く立ち直つて！◆福島原発
 事故、放射能拡散は地球を覆
 う。子供の将来を憂う。情報は
 後手に回る。◆マスコミはいま
 層目を見開く時、偽政者と業
 界の癒着を断て！(M記)

来年は30周年記念総会です。
 今年大学は130周年で
 大きな事が予定されてお
 りますが、我がMMCも来
 年は創設30周年を迎えま
 す。

30年前は、赤坂のホテル火
 災や羽田空港沖の事故が発
 生し、報道に携わる皆様に
 取つては忘れられない年にな
 りました。我がMMCは、そ
 んな年に産声をあげまし
 た。それから早30年、来年1
 月末頃に記念総会を開催し
 ます。できるだけ遠くの皆様
 にも参加して頂けるよう日
 時調整を致します。是非ご
 参加頂き、あの時はどうだ
 た、こんな事もあった等々若
 い年代のOBにも語りかけ
 て頂き、明大魂や力を繋いで
 いくにはありませんか！
 今から大まかな日程(来
 年1月末)を頭に入れておい
 て下さい。なお総会時には
 MMCホームページも披露す
 る予定で現在制作中です。
 是非、皆様ご参加下さい。
 (広報部)

開かれた大学を目指した改革で 志願者数V2を達成

明治大学経営企画部広報課長 黒田仁一



このたびの東日本大震災で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて二〇一一年度の一般入試において、明治大学は昨年に引き続き、志願者数日本一を達成することができました。これはMMC会員の皆様をはじめ、教職員・校友が一体となって研究・教育改革を積極的に発信した社会的評価の現れだと考えています。一尽力により感謝申し上げます。

①「教育の拡充」
かつてマスプロ教育と揶揄された大教室を減らし、現在では少人数教育を充実させ、学部によっては一年次からセミナーを導入しています。知識や理論のほか、問題発見・解決力・プレゼン能力、ディスカッション能力、コミュニケーション能力などを高める教育効果が顕われています。

②「奨学金の充実と学生サポート」

経済不況のなか、大学でも奨学金制度を充実させており、三人に一人の割合となる約万二千人の明大生が奨学金を受給。優秀な学生は早期卒業できる制度も設けています。また文科省の大学G.P.を取得し、「MNAVイノベーション」を実施するなど、学生生活を厚くサポートしています。

③「就職支援の充実」

「就職の明治」と評されてきたように、学生の就職活動を徹底的にバックアップしています。昨年は就職未決定学生のために、大学に企業人事担当者を集めて説明会を実施。その場で就職面接を行うなど、経済不況における支援体制を強化しました。

④「研究と国際化の促進」
現在、約150大学と海外協定を結び、グローバル化に対応した教育を実現。文科省のグローバル30にも東大・早慶などと採択されました。また英語のほか世界十一ヶ国語で約150クラスを開講し、世界に開かれた大学として国際化に力をいれています。

⑤「教育施設の整備」
リハビリタワーなど施設の再開発でイメージが近代的なキャンパスに。立看板をなくす決死の大改革を行いました。高校生による「おしゃべりな大学ランキング」キャンペーンが盛り込まれ、上位にランクインするなど、女子学生にも人気のある大学として変貌を遂げています。

⑥「新学部の設置」
情報コミュニケーション学部
と国際日本学部を新設。時代に対応した学部教育を展開しており、2013年度には総合数理学部(仮称)の開設を目指しています。またスポーツ系学部の設置も構想されています。

⑦「入試改革」
受験生が対策を立てづらかった入試問題の難問奇問をなくし、努力して勉強すれば合格ラインに達することができるよう入試の改革を行いました。全学部が同一の問題を利用し、複数学部を受験できる「全学部統一入試」を二〇一〇七年度から導入。現在、地方とのつながりを改めて強化するため全国で八都市で実施しています。

⑧「入試改革」
以上、大学の主な改革を列挙しましたが、全入時代では偏差値重視から、自分に合った校風や大学による支援など、内容を重視する傾向にならうており、時代を先取りしながら改革を推進する大学が評価されています。

明治大学は本年、創立130周年を迎え、「世界へ一歩を踏み出す」をテーマに、「個性を高め、世界をつなぐ、未来へ」というコンセプトを掲げています。これからも「世界に発信する大学」として、精進して参りますので、今後とも広報展開等でMMC会員の皆様にご協力賜れまします。幸甚です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

就職活動を終えて

長原和磨 経営学部4年
(読売新聞社内定)



読売新聞東京本社から一般記者職で内定を頂くことができました。憧れだった記者になることができ、幸せです。MMCの講座では論文作成や面接練習をはじめ多くのOBの皆さんにお世話になりました。入社後も信念を持ち、立派な記者になれるように精進したいと思います。

島野一樹 情報コミュニケーション学部4年
(東宝内定)



MMCの諸先輩方には大変お世話になりました。様々なプログラムはもろもろですが、一番は厳しく指導して頂いたことです。友人同士ではなかなか言ってもらえない事をスバッと聞いてもらえ、環境はそう多くはありません。映画好きの人間が映画会社でどこまで通用するかわかりませんが、挑戦し続けたいと思っております。

田辺里咲 政経学部4年
(読売新聞社内定)



高校時代、パラリンピック女子柔道の代表候補選手と共に練習をした経験から、「ドキメンタリー」に関わる仕事を志しておりました。テレビ制作・新聞・出版の採用試験を受け、読売新聞本社から内定を頂き、就職活動を終えることに致しました。

細井萌 文学部4年
(共同テレビジョン内定)



浮き沈みの多い就活も、自分「らしさ」を見失わずに周りとの関わり方で、共同テレビジョンに内定という、納得の出来る結果に繋がりました。大切なのは、情熱と素直さです。後輩の皆さんへ「頭だけではなく心でも考える姿勢を忘れず」、「自分のこれからの人生」をしっかりと見つめて、臨んで下さい。そして、心身共に健康に気を付けて！応援しています。

リレーマゼイ北から南から

(株)テレビ新潟放送網
編成局長 駒形正明
(昭和52年政経学部卒)



2011年6月、キリンカップ日本代表戦(新潟スタジアム)

テレビ新潟は開局30周年

テレビ新潟(NTV系)は今春開局30周年。

愛称はTeNiY(テニイ)で「手」と「TeNiY」のキャッチで新潟ではお馴染みです。昨年は視聴率四冠王を達成し、6年ぶりに新潟地区1位となりました。社員91名のうち、なんと8名が明大卒業生です。

私はマスコミ研究会の第一期生で昭和52年に卒業。NHKにアナウンサーとして4年間勤務した後、開局直前のテレビ新潟に入社しました。その後、報道部や事業部などを経験し現在は編成局に所属。この間ソウル五輪の取材や、Wカップサッカーの新潟招致活動

をしたり、地方局では異例の「環日本海国際駅伝」42.195キロの生中継を行ったりと、多様な仕事に携わることができました。

新潟市で長友ゴール

6月1日新潟市で「キリンカップサッカー日本対ベルギー」が開催され、日本代表の長友佑都選手がピッチに登場。スタジアムは割れんばかりの歓声と長友ゴールがわきあがり、彼は他局でしたが明大OBとしてほろほろ涙を流す。かつて、新潟はサッカー不毛の地と揶揄されました。そこで事業部時代に、新潟にJ1のサッカーチームを創ろうと奔走。結果として「アルビレックス」が誕生し、国際試合も開催されるようになり感無量です。

北東アジアの交流拠点

報道部時代の90年代は、東西冷戦の終焉に伴い、日本海沿岸諸国の取材に何度も足を運び、ロシアでは交通事故に



1993年4月、ロシアのウラジオストク

遭遇し九死に一生を得たことも。ソ連崩壊の混乱や、動きだした中国の経済発展、また、当時のメディアがまだ足を踏み入れていなかった中国ロシア、北朝鮮の国境地域の取材など貴重な体験をしました。挙句に「環日本海経済研究所」(新潟市)に2年間出向し、北朝鮮の経済視察も何回か行いました。将来、北東アジアの人や物流の拠点を新潟が担う時代の到来を期待しています。

新潟の役割

新潟県護国神社境内に明治大学の出陣学徒忠霊殿があることはあまり知られていません。毎年7月10日に大学と新潟校友会で慰霊祭を実施。今年も出席しました。

実は、今回の東日本大震災で新潟は被災地の人や物資の中継拠点として重要な役割を果たしました。かつての戦争や

今の震災を克服し、未来の日本の均衡ある発展を実現するために、太平洋岸での発生が懸念される巨大地震への対応のために、日本列島の弓の弧の中央付近に位置する新潟の役割は大きいと考えています。



2010年7月10日、新潟校友会による慰霊祭

(株)矢動丸プロジェクト
代表取締役 前田高明
(昭和52年文学部卒)



人のやらないオモロイ事を

まず自己紹介ですが、私は昭和27年生れの明大文学部演劇学専攻で、いささか遠回りをした昭和52年の卒業生です。卒業後は、地元大阪の広告代理店に就職し、31歳で独立。現在株式会社矢動丸プロジェクトの代表として

て東京、大阪に拠点を構え、毎週ほぼ大阪を往復する生活です。

事業は全国の放送局との取引を中心に、テレビ広告メインの新聞、雑誌を含むオール広告媒体を取り扱っています。また広告代理業のみならず、テレビ番組の企画制作も手がけており、「賢者の選択」というテレビ番組は、既に8年を経過する長寿番組として、全国に毎週楽しみにしているという視聴者も多いという事です。この番組のナビゲーターは、我が明大国際日本学部学部長の蟹瀬誠三さんをはじめ、宮川俊二さん、諸星裕さん等のジャーナリストでもある大学教授連にお願ひしております。また、この秋より元NHKの大物アナを起用した新番組も準備中です。

このように広告代理店でありながら、テレビ番組の企画・製作・著作権も有する広告会社は全国的に見ても極めて少ないのではないかと考えます。元来が「人のやらないオモロイ事をやりたい」という自主独立・質実剛健の明大の発想で今日まで来ている気がします。

広告の世界も私が業界に入った頃とは様変わりし、今やネットの勢いがマスを凌駕しはじめ、日本のみならずアジア、あるいは世界を最初から視野に入れたメディアが

続々と出現し、ネットと旧メディアの共存の時代に突入しています。それぞれのメリットを活かし、シナジーを産むような柔軟な志向が広告会社には求められ、弊社も正に、それを体現すべく日々考えています。

さて大阪の様子となると私見ですが、やはり地盤沈下は否めず大阪駅、それに続く北ヤード地区、天王寺地区の再開発の賑わいは有るものの、関西を牽引するようない起爆剤的なビッグイベントは今のところ見当たりません。行政と企業と、それに関西がもつと連携を密にし、京都、神戸、さらに奈良も加えた関西連合体でモノを考えたい発想が、現実的に最も受け入れやすく、東京の「極集中」を避ける意味でもよいのかもしれない。来年は私も還暦を迎える訳ですが、大阪に居を構える身として関西独自の文化、歴史、DNAを発展的に継承してゆく活動を私なりに仕事を通じて模索中というところです。

明大には卒業以来4半世紀ちかく立ち寄つてなかったのですが、MMC入会を機に、御茶ノ水、神保町界隈に、昼となく夜となく出掛ける機会が増えました。皆様には新しい、楽しい、旨い情報をご教示のほど宜しくお願い致します。